

# 減多にお目にかかれない観賞用柑橘！「<sup>ぶっしゅかん</sup>仏手柑」



## 1. 果実の出荷時期と利用方法

出荷時期	12月中旬
利用方法	内部は白いコルク状で果肉はなく、生け花など観賞用として利用されるほか、砂糖やはちみつに漬けて菓子として茶席で出されることもあります。
備考	先が指のように分かれていることから、仏の手のひらに見立てて「仏手柑」と名付けられました。産地化されておらず、西日本の柑橘生産県を中心に個々の生産者単位で栽培されています。高知県で栽培されている緑色で球状の仏手柑（ <sup>まるぶっしゅかん</sup> 丸仏手柑）は別の品種です。

## 2. 来歴

インドの原産で、江戸時代前半に日本に伝来したといわれています。

※父母世代不明のため、3世代系譜図は省略